

平成29年度
大阪大学博士課程教育リーディングプログラム
生体統御ネットワーク医学教育プログラム

学生募集要項

アドミッション・ポリシー

求める学生像

下記のような志の高い人を求めています。

- ・生命科学に強い興味をもつ
- ・未知のものに対する強い好奇心をもつ
- ・何事も最後までやり抜く勇気と信念をもつ
- ・専門分野を超えて交流を行うためのコミュニケーション能力に優れている
- ・専門領域の知識に固執することなく、異分野領域の知識も取り入れることのできる柔軟性をもつ
- ・世界的に活躍することを目指す国際的マインドをもつ
- ・さまざまな困難に立ち向かい、それを乗り越えることのできる強い精神力をもつ

1. 「生体統御ネットワーク医学教育プログラム」設立の背景

大阪大学では、これまで生命科学研究分野において免疫学をはじめ、再生医学、神経科学などの分野で数多くの画期的成果を生み出す基礎研究者を輩出してきました。しかし、その成果を難治性疾患の克服にまで発展させた例は、抗体医薬開発以外にはほとんどみられないのが実情です。

この要因としては、

- (1) 各生命科学研究分野が専門化し、疾患を生体統御システムのネットワークの破綻としてとらえる俯瞰的な視点が不十分である
- (2) 疾患発症機構を理解しても、画期的医薬品や医療機器の開発に必要な医薬連携や医工連携等の研究科の壁を越えた異分野融合が不十分である
- (3) 疾患治療法の社会応用実現のための産学官連携が不十分であることが考えられます。

そこで、「生体統御ネットワーク医学教育プログラム」による大学院教育を平成 24 年度から開始しました。

2. 「生体統御ネットワーク医学教育プログラム」で養成する人材像および能力

【養成する人材像】

- ・生命現象を統合的にとらえ、免疫、神経、再生などの各生命維持システムの専門的知識だけでなく、各システム間の機能的連関を理解し、グローバルに先端的研究を展開する研究者
- ・医学、工学、薬学、理学、歯学、生命機能の各研究科と連携することで異分野融合を実現し、疾患克服に必要な医薬品・医療機器の開発を可能にする研究者
- ・生命科学研究成果を疾患治療に結びつけることができ、産学官の各分野でリーダーシップを発揮する人材

【養成する能力】

- ・生体を複数の統御システムネットワークの連関として俯瞰的にとらえ、アカデミズムを追及できる創造力
- ・基礎研究の成果を社会応用にまで展開する集学的なイノベーション力
- ・豊かな国際性
- ・卓越したコミュニケーション能力

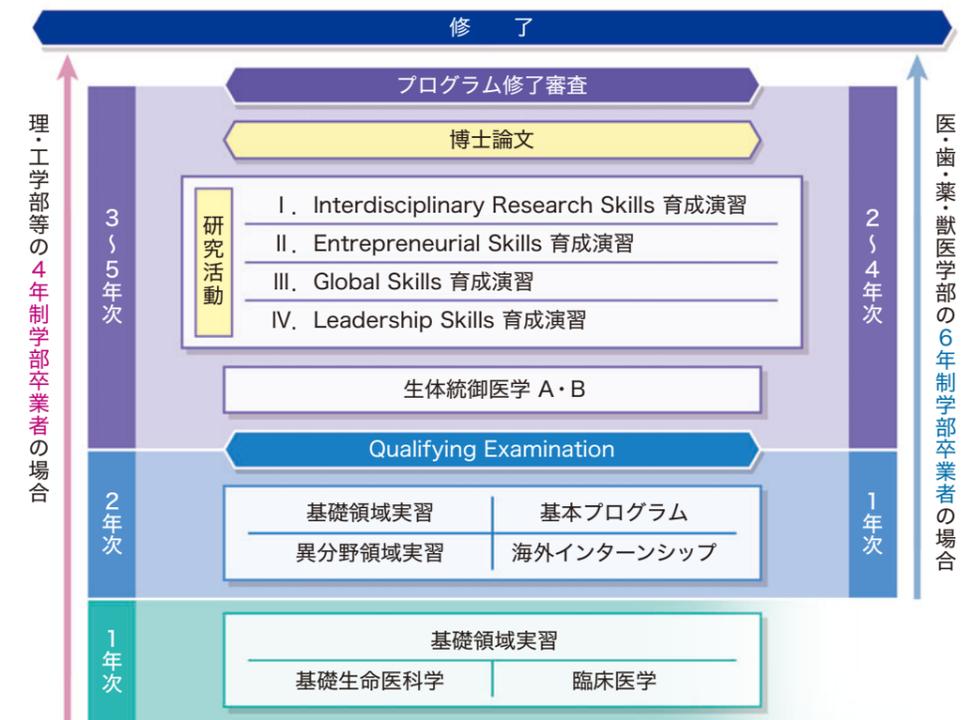
3. 「生体統御ネットワーク医学教育プログラム」の内容

【カリキュラム】

生命科学系分野で最先端の研究を行っている研究者を外国人も含めて研究科の枠を越えて結集させ、従来の生命科学分野の研究室での研究に加えて、下記のカリキュラムを実施します。

- ・分野横断型の講義プログラム
- ・異分野領域の研究室ローテーション
- ・海外インターンシップ
- ・英語による定期的分野横断型研究発表会
- ・学生の学生による国際シンポジウムの開催
- ・企業インターンシップ

プログラムの内容



※ 1年次開講科目は日本語で行われ、2年次開講科目「基本プログラム」は英語で行われます。

【学位について】

本プログラムの学生には、2年終了時に Qualifying examination を実施し、これまでの研究成果の書面審査、英語での発表による審査に加えて、3年次以降の研究計画提案の書面審査を行い、合格した学生が3年次に進級します。

学位審査を経て修了した学生には、「本学大学院〇〇研究科△△専攻の博士課程を修了したので博士（□□）の学位を授与する。本学博士課程教育リーディングプログラム「生体統御ネットワーク医学教育プログラム」を修了したことを証する（〇〇は研究科名、△△は専攻名、□□は学位の分野）」と記載された学位記が授与されます。

平成 29 年度 博士課程教育リーディングプログラム
「生体統御ネットワーク医学教育プログラム」学生募集要項

生体統御ネットワーク医学教育プログラムでは、アドミッション・ポリシーに基づき履修者選抜を実施します。

- 1 募集人員 4 年制学部卒業（見込）者 12 名前後
6 年制学部卒業（見込）者 5 名前後

2 出願資格

■4 年制学部卒業（見込）者対象（5 年制プログラム）

- 1 平成 29 年 4 月に本学大学院博士前期課程（理学研究科（生物科学専攻）、医学系研究科（保健学専攻）、薬学研究科（創成薬学専攻）、工学研究科（生命先端工学専攻、応用化学専攻、環境・エネルギー工学専攻、ビジネスエンジニアリング専攻））に入学予定の者。

- 2 平成 29 年 4 月に本学大学院 5 年一貫制博士課程（生命機能研究科）に入学予定の者。

- 3 平成 29 年 4 月に本学大学院修士課程（医学系研究科（医科学専攻））に入学予定の者。

※他の博士課程教育リーディングプログラムを重複して履修することはできません。

※留学生の方へ：本プログラムの 1 年次は多くのカリキュラムが日本語で実施されます。選抜試験では日本語能力を問うため、面接の質問は日本語で出題されます。

■6 年制学部卒業（見込）者対象（5 年制＜2 年次編入＞プログラム）

- 1 平成 29 年 4 月に本学大学院博士課程（医学系研究科（医学専攻）、歯学研究科（口腔科学専攻）、薬学研究科（医療薬学専攻））に入学予定の者。

- 2 「平成 28 年度 10 月入学本学大学院医学系研究科博士課程外国人留学生特別選抜」に合格し、本プログラム選抜試験出願時に、本学大学院博士課程（医学系研究科医学専攻）1 年に在学している者。

※他の博士課程教育リーディングプログラムを重複して履修することはできません。

※4 年制学部を卒業し、修士課程を修了した学生は、6 年制学部卒業者としての応募資格はありません。

※薬学研究科（医療薬学専攻）の第 2 次募集を受験した者に限り、その合否が未定のままでの出願を認めません。出願時に当該専攻の合格を証明する書類の提出はできませんので、当該専攻の受験票の写しを提出してください。なお、当該専攻に合格し生体統御ネットワーク医学教育プログラムの書類選考に合格した場合は、本プログラムの選抜試験（小論文・面接）までに、当該専攻の合格を証明する書類をプログラム事務室まで提出してください。当該専攻に合格しなかった場合は、本プログラムの選考対象から除外します。

- 3 出願手続 「2 出願資格」に該当する者は、下記の要領で出願手続を行ってください。

◎出願方法……郵送又は願書受理場所へ持参

◎願書受理期間……平成 29 年 2 月 6 日(月) ～2 月 14 日(火) ※土日を除く
(受付時間……午前 9 時 30 分～11 時 30 分、午後 1 時 30 分～4 時)

◎願書受理場所……大阪大学 最先端医療イノベーションセンター棟 2 階
未来戦略機構 第二部門（生体統御ネットワーク医学教育プログラム）事務室（0203）

◎出願書類……5 出願に関する書類等一覧表の 1～8

【郵送の方法】

宛先……〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 大阪大学 最先端医療イノベーションセンター棟 2 階
未来戦略機構 第二部門 生体統御ネットワーク医学教育プログラム事務室

角形 2 号（縦 33 cm×横 24 cm 程度）の封筒を利用し、必ず「**書留速達**」郵便で送付してください。
(平成 29 年 2 月 14 日以前の発信局（日本国内）消印のあるもの限り、期限後に到着した場合でも受理します。)

4 検定料

検定料は必要ありません。

5 出願に関する書類等一覧表

書類	内容
1 もしくは、 本学大学院医学系研究科博士課程 1 年在学証明書	本学大学院合格通知書の写しを提出してください。 ない場合は、所定の用紙に、合格した研究科長名で証明したものでも可。 ※薬学研究科（医療薬学専攻）博士課程の第 2 次募集受験者は、出願時の当該書類の提出は必要ありませんが、薬学研究科の受験票の写しが必要です。 本学大学院医学系研究科「平成 28 年度 10 月入学外国人留学生特別選抜」に合格し、出願時に博士課程 1 年に在学している者は、本学発行の在学証明書を提出してください。
2 履歴書（様式 2） Curriculum Vitae (Form 2)	所定の用紙に記入してください。 英語力検定試験（TOEIC、TOEFL、IELTS、その他）の成績について記載する場合は、スコア等を証明する書類の写しを添えて提出してください。 日本語を母国語としない出願者が日本語能力に関する検定試験（JLPT、その他）の成績について記載する場合は、スコア等を証明する書類の写しを添えて提出してください。
3 出願理由書（様式 3） Statement of Purpose (Form 3)	【書類選考の対象となります。】アドミッション・ポリシーを熟読した上で、所定の用紙に記入してください。
4 評価書（様式 4）	【書類選考の対象となります。】出願者のことをよく知る大学教員（出願者の卒業研究指導教員、大学院での受入れ予定教員等）が所定の用紙に記入し、厳封の上、提出してください。自己評価は不可。
5 履修願書(様式 5) Application Form (Form 5)	所定の用紙に記入してください。
6 卒業（見込）証明書、成績証明書 Certificate, Transcript	出身大学長等が作成したもの。
7 受験票・写真票 Exam Admission Ticket and Photo Sheet	所定の用紙に写真（3 か月以内に撮影）を貼付し、記入してください。
8 受験票送付用封筒 Envelope for Sending Exam Admission Ticket	長形 3 号（縦 23.5cm×横 12cm）の封筒に宛先を明記し、392 円分の切手を貼付してください。（簡易書留）

※出願書類は、PC 入力が見たい。書類は本プログラムホームページ（※）より、ダウンロードできます。

6 選抜プロセス

選抜プロセス（内容）	期日	時刻	場所
願書受理期間	平成 29 年 2 月 6 日(月)～2 月 14 日(火)	—	—
書類選考合格発表	平成 29 年 3 月 3 日（金）	10:00 （予定）	ホームページ（※）
選抜試験 （小論文・面接）	平成 29 年 3 月 11 日（土）	9:00～17:00 （詳細別途連絡）	大阪大学 最先端医療イノベーションセンター棟
最終合格発表	平成 29 年 3 月 17 日（金）	10:00 （予定）	ホームページ（※）

（※）ホームページ URL：http://www.stn.osaka-u.ac.jp/

受験票は、出願者全員に平成 29 年 2 月 24 日(金)までに受験票送付用封筒にて郵送します。同日までに受験票が届かない場合は、未来戦略機構 第二部門（生体統御ネットワーク医学教育プログラム）事務室までお問い合わせください。

7 選抜についての注意

- 書類選考は、出願理由書、評価書により実施します。書類選考の合格発表は平成 29 年 3 月 3 日（金）に生体統御ネットワーク医学教育プログラムホームページに合格者の受験番号を掲載することにより行います。電話、メールによる可否の問い合わせには応じません。
- 選抜試験は、書類選考合格者のみ受験できます。試験場所等の詳細な注意事項は生体統御ネットワーク医学教育プログラムホームページにて発表します。

8 最終合格発表

平成 29 年 3 月 17 日（金）に生体統御ネットワーク医学教育プログラムホームページにおいて、最終合格者の受験番号を掲載することにより発表するとともに合格書類を願書記載住所へ送付します。電話、メールによる可否の問い合わせには応じません。

9 履修手続

生体統御ネットワーク医学教育プログラム履修者選抜に合格した場合は、履修手続が必要となります。生体統御ネットワーク医学教育プログラムを履修することによる追加の入学料・授業料は必要ありません。詳細は合格者に連絡します。

10 プログラム内容

生体統御ネットワーク医学教育プログラムの内容は、プログラムパンフレット及びホームページをご覧ください。

11 個人情報の取扱いについて

- 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「履修者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格発表」、「履修手続」等の業務及び生体統御ネットワーク医学教育プログラムに関する業務を行うために利用します。
- 履修者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、選抜結果の集計・分析及び履修者選抜方法の調査・研究のために利用します。
- 上記 ① 及び ② の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部又は一部を提供します。

12 奨励金制度について

大阪大学では、生体統御ネットワーク医学教育プログラムを履修する学生が学業及び研究に専念できるように、希望者に対して所定の選考を経た上で、独立行政法人日本学術振興会特別研究員（DC）の研究奨励金に準じた月額 20 万円（平成 28 年度の場合）の奨励金（給付型）を支給する制度を設けています。

なお、奨励金と重複して受給できない奨学金や給付型経費等が定められており、受給資格としては、次に掲げる基準をすべて満たす必要があります。

- 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）として採用されていないこと。
- 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を受給していないこと及び貸与を受けていないこと。
- 国費留学生として日本政府（文部科学省）奨学金を受給していないこと。
- 留学生として母国の奨学金を受給していないこと。
- 本学独自の奨学金を受給していないこと。
- 奨励金受給期間中に報酬（アルバイト料（チューターによる報酬）を含む。）を受給しないこと。ただし、以下については、例外的に週当たりの総時間数 5 時間まで受給可能です。
 - 本プログラムの教育・研究の遂行に不可欠な場合の TA・RA
 - 医師・歯科医師・看護師の資格を有する者が研究従事機関の付属病院にて診療を行う医員等（診療従事が教育研究上必要不可欠な場合に限る）
 - 大学等高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）における非常勤講師

- ④学生自身の研究に関連する学会関係の補助業務（単発的なものに限る。学部生がアルバイトとして行うような単純労働は不可）
- ⑤スーパーサイエンスハイスクールをはじめとする高等学校における課題研究活動等の TA
- ⑥学生の教育研究上必要であるとプログラム責任者が判断するもの

また、本奨励金は所得として課税の対象となり、所得税・住民税の納付が求められます。その他、納税以外にも、国民健康保険や国民年金への加入が伴います。奨励金の申請方法等の詳細については、別途ホームページ等により通知します。

なお、生体統御ネットワーク医学教育プログラムにおいては、研究拠点形成費等補助金（リーディング大学院構築事業費）による本制度は、平成 29 年度までの予定です。

奨励金の受給資格対象外の学生には、RA 活動に対する報酬として経済的支援が可能です。

13 注意事項

- 出願書類に不備のある場合は受理できません。
- 出願手続後は、原則として記載事項の変更は認めません。
- 出願時に提出された書類は返却しません。
- 受験票は、出願手続後、受験票送付用封筒にて郵送します。
- 出願書類に虚偽の記載をした者は、履修決定後であっても履修の許可を取り消すことがあります。
- 入学後大学院研究室での受入予定教員にプログラム履修を希望している旨を、必ず伝えておいてください。
- 身体に障害等がある者で、受験に際して特別な配慮を希望する場合は、原則として平成 29 年 2 月 14 日（火）までに未来戦略機構 第二部門（生体統御ネットワーク医学教育プログラム）事務室へ問い合わせてください。
- 募集要項に関する Q&A は、生体統御ネットワーク医学教育プログラムホームページ（<http://www.stn.osaka-u.ac.jp/>）に順次掲載します。

各種問い合わせ・書類請求先

大阪大学 未来戦略機構 第二部門（生体統御ネットワーク医学教育プログラム）事務室（0203）

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 大阪大学 最先端医療イノベーションセンター棟 2 階

TEL:06-6210-8230（直通） FAX:06-6210-8232
E-mail : seitai@stn.osaka-u.ac.jp URL : <http://www.stn.osaka-u.ac.jp/>